

15 漢詩2 漢詩に親しむ

組
番号
氏名

1

次の漢詩を読んで、問いに答えなさい。

桂林莊雜詠諸生に示す

広瀬淡窓

休道

他郷

多苦

辛

辛

一

道ふを休めよ他郷苦辛多しと

同袍

有友

自相

相親

親

親

柴扉

暁出

霜如

雪

雪

の如し

柴扉暁に出づれば霜雪の如し

君汲

川流

一我

拾薪

薪

ヲ

君は川流を汲め我は薪を拾わん

① この詩の形式を答えなさい。

Blank box for answer 1

② この詩で押韻している漢字をすべて抜き出
しなさい。

Blank box for answer 2

③ 第一句に用いられている表現技法を答えな
さい。

Blank box for answer 3

④ 第一句の書き下し文を通常の語順に並べ替えるとどうなりますか。

Blank box for answer 4

⑤ 同 袍 有 友 自 相 親 を書き下し文に直しなさい。

⑥ 霜雪の如し とありますが、その意味として最も適切なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 霜がまるで雪のように降りている。
- イ 雪がまるで霜のように積もっている。
- ウ 霜の上に雪が降り積もっている。
- エ 霜も雪もどちらも真っ白だ。

⑦ この詩の「転句」を書き下し文で書きなさい。